

角野校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成30年9月3日（月） 19:00～21:00
場所 角野公民館
司会・進行 松本連合自治会長
参加者数 男 60人 女 11人 合計 71人



1 市の重点事業に関する質問

質問 「Hello New 新居浜 FM」の放送が開始されているというが、自動車に乗車中は聞こえるのに家の中では聞こえないのはなぜか。

回答（防災安全課長）市庁舎の屋上にアンテナが設置されているが、場所によって受信が弱いためと思われる。

2 連合自治会共通の市政課題

発表・質問

（校区防災会 会長）

角野校区防災会は、校区住民の生命と財産を守ることを目的とした様々な取り組みを行っており、今年も校区を挙げての防災訓練を8月5日に実施して自助・共助の重要性を再認識した。校区防災会は、校区連合自治会をはじめとする校区各団体から資金面での支援をうけ、その活動資金としているが、校区内47単位自治会が各々、防災資機材を保有し、実践的で効果的な活動をすることが望ましいことから、活動資金について助成をいただきたい。

また、校区防災組織充実を目的とする活動への、地域在住の市職員の積極的な参加を促していただきたい。

・回答（市民部長）

角野校区防災会の、地域防災力の向上を目的とする取り組みに感謝している。市内でも非常に熱心かつ先進的な活動であると認識している。

角野校区の活動を支援するとともに、他の校区へも広げてまいりたいと考えている、引き続き、必要な予算の確保に努めるとともに、自主防災組織の結成状況、活動状況・参加状況等に応じた予算配分できるよう検討していきたい。

市職員の防災訓練などの地域活動への参加について、積極的に参加するよう努める。

（小学校 PTA 会長）

地震によりブロック塀が倒れ、生命が奪われるという痛ましい事故があった。角野校区においても、危険個所を改めて見つめなおし、安全で安心な地域づくりに向けて、小学校・中学校の PTA が中心となった防災マップを作成したいと考えていることから、必要な支援をお願いしたい。

・回答（市民部長）

地震等の災害に巻き込まれない、また避難する際に被害に遭わないために、日頃から危険個所を把握、周知、情報共有しておくことは重要であると認識している。

防災マップの作成について、できる限りの支援に努めたい。

（質問 1）

市提供資料によると、角野校区の避難行動要支援者は 272 名とある。私は民生委員であるが、いつからか要支援者のリストを見なくなった。災害時に支援を必要とする方について情報を教えてくれないと、いざというときに適切に対応することができない。

・回答（市民部長）

個人情報観点から要援護者リストの取り扱いが難しく、災害発生時に支援を必要とする人への対応をどうすべきか、市としても検討していく。

（質問 2）

宝くじ助成を活用した各校区連合自治会単位での資機材の充実については、川西・川東・上部の各組織に対して、定期的（6年周期）な整備助成を行ってもらえるのか。

・回答（市民部長）

何年に 1 回というような定期的な対応については約束することは難しい。

各組織の充実に向けて引き続き努力していく。

（質問 3）

市提供資料「避難所一覧」の角野公民館を見ると、すでに耐震工事を終えていると思われるが「未耐震」と記載されている。資料作成にあたっては十分確認してほしい。

・回答（市民部長）

ご指摘の通り、すでに耐震工事は完了している。直ちに資料データを修正したい。また、今後の資料作成にあたり十分確認させていただく。

3 校区課題

課題名：（降口及び堤防道路の舗装及び上部河川敷の整備について）

（校区連合自治会会計）

上部地区の国領川河川敷は、多くの住民にとって憩いの場となっている。更なる充実のため、芝生の植栽、パークゴルフやグランドゴルフ場を整備してほしい。また、安全で快適に使用できるよう、進入路及び進入路降り口の舗装整備をお願いしたい。また、氾濫の予防と河川敷部分の有効活用に資するよう、河床土砂の撤去などを計画的に進めてほしい。

・回答（建設部長）

城下橋下流の国領川河川敷において、グラウンドゴルフ等に利用している箇所については、利用団体等により一定の維持管理を頂けることを条件に、施設の整備と長期貸し出しを行っている。要望箇所についても、同様の条件が整った後に協議させていただきたいと考えている。また、整備にあたっては、左岸側の吉岡町付近が適していると考えている。

進入路の舗装については、平成29年度に利用頻度の高い新田橋下流左岸の進入路の舗装を行った。その他については、現在の利用状況を考慮すると、舗装整備は難しいと考えている。

河床の土砂撤去については、管理者である愛媛県へ要望する。

課題名：（道路の安全対策について）

（校区連合自治会会計）

新田橋東詰めの道路交差点は、観光客や公園利用者が多く通行しているが、同交差点は見通しが悪く、いつ事故が発生してもおかしくない状況にある。先般、日中の明るい時間帯にも関わらず車両同士の衝突事故が発生したばかりである。

朝夕の通学時や、夜間は更に危険が増幅されることから、信号機やカーブミラーを設置するなどの安全対策をお願いしたい。

また、校区内通学路の安全対策として、公民館西側道路へのグリーン帯の設置及び、上部東西線の山根コープ付近と角野船木線の消えかかっている横断歩道の改善、「たねがわ心の相談室」前交差点付近への速度制限標識の設置と横断歩道の新設をお願いし

たい。

・回答（建設部長）

新田橋東詰め道路交差点の安全対策について、新居浜警察署へ問い合わせたところ、「当箇所においては交通量も多く、信号機の設置が必要であると認識しており、今後関係機関と協議のうえ、設置したいと考えております。」との回答があった。

通学路の安全対策の内、公民館西側道路については、来年度以降に白線及びグリーン帯を設置する。角野船木線の消えかかっている横断歩道及び「たねがわ心の相談室」前交差点付近の横断歩道、速度標識については、県議会議員、地元市議会議員、自治役員と警察署へ要望した結果、「必要性を認識しておりますので、現地確認のうえ検討します。また、速度標識については、時期は未定ですが、実施します。」との回答をうけている。

（質問１）

国領川右岸、「十全ユリノキ病院」に続く堤防道路は、狭小なうえ患者や職員など利用する人が多い。車がすれ違いする際、転落の危険性がある。ガードレールの設置をお願いしたい。

・回答（建設部長）

堤防道路は著しく劣化しており、今後改修していくことも検討している。現状では、ガードレールを設置すると道幅が更に狭くなるという問題も出てくることから、今後の検討としたい。

4 その他

（質問１）

校区外の事項に関する要望ではあるが、あかがねミュージアム南側の自転車置き場に屋根が無いため、雨天時の利用に困っている。屋根を設置してほしい。

・回答（企画部長）

建設当時から議論はあった。雨天時は濡れないよう地下に駐輪場を設けている。駅利用者の放置自転車に関する問題もあり、あかがねミュージアム利用者以外が駐輪しないような体制づくりがとあわせて今後の利用状況を見ながら検討してまいりたい。

（質問２）

骨髄等移植ドナー支援事業の創設をお願いしたい。人の生命に関わる骨髄バンク提供ドナーの経済的負担の軽減とともに、ドナー登録者の増加を図るため助成制度を検討していただきたい。

・回答（福祉部長）

移植を待っている患者さんの約9割に適合ドナーが見つかるものの実際に移植に至るケースは5割程度と伺っており、その多くがドナー側の入院や通院に伴う負担であり、経済的な要因もその一つと言われている。ドナーの方の負担軽減を図ることを目的とする助成制度の創設について検討する。